提 当 警察署に物件を提出する際の「提出書」の 記載例です。

遺失物法第4条第1項又は第13条第1項の規定により、次のとおり物件を提出します。

		年	月	
京都府 〇	○ 警察署長 殿	氏名又は名称京都市上京区OO町1-●		
提出	出先の警察署名を記載してください。	住所又は所在地(株)О▲スーパー 店長 京都 まろん		
※受理番号		電話番号その他の連絡先 075-〇〇〇一〇〇〇		
华	勿件の種類及び特徴	拾得日時権利		名等
現金(内訳)	物品	一般拾得者が所有権を主張している場合、 施設占有者は所有権を主張することができ ません。		·知]意
¥ 10,000	財布(黒色、二つ折り)	○年 4月 5日 □ 費用請求権		
(内訳)	キャッシュカード 1枚(キョウト マロン名義	12時 30分ころ 🗌 有権 🗕 🗎 報労金請求権		有
5千円×1枚	運転免許証 1点(京都 まろん名義)	(拾得場所)		
千円×5枚 従業員か	「拾得し、一切の権利を放棄する場合	1階 1番レジ通路 □ 失権	Ø	無
一般拾得の場合(従業)	員等関係者以外の者の拾得)	一般拾得者から		
氏名		占有者への交付日時 □ 有権 → □ 報労金請求権		有
	員拾得の場合は、記載不要です。	所有権		無
住所		年 月 日		不明
電話番号		時 分ころ 口 失権		
¥ 30,000	財布(茶色、長財布、ルイヴィトン様)	●年 4月 6日 □ 費用請求権		
(内訳)		15時 00分ころ □ 有権 - □ 報労金請求権		有
1 万四×9粒	拾得者(お客さん)が店舗内で拾得し24時]に占有者に提出、一般拾得者が報労金詞	(拾得場所) 報方金請求権を王張してし		ì
- II	び所有権を主張している場合	プロット は、遺失者に対する氏名等行る では、遺失者に対する氏名等行る できまる できまる は、遺失者に対する氏名等行る できまる できまる できまる できまる はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はんしゅう はんしゃ はんしゅう はんしゅん はんしゃんしゅんしゅん はんしん はんしん はんしん はんしんしん はんしん はんしん	与知の	Ħ.
		□失権		
一般拾得の場合(従業)	員等関係者以外の者の拾得)	一般拾得者から 日 費用請求権		
氏名 京都 みやこ	一般拾得者(お客さん)	占有者への交付日時 ☑ 有権 → ☑ 報労金請求権	☑	有
住所 京都市北区〇	○町5 -● が拾得した場合は、太枠 内も記入してください。	●年 4月 6 日		無
277	内も記入してください。	□棄権		不明
電話番号 090-●		15時 05分ころ 口 失権	<u> </u>	
¥	パスケース(黒色、ポールスミス様)	●年 4月 8日 □ 費用請求権		
(内訳)	ICOCA(無記名)	10時 00分ころ □ 有権 → □ 報労金請求権		有
一般拾得者(お客	さん)が店舗内で拾得したが、24時間を超	(拾得場所)		
	した場合(失権になります)	 ✓ 乗権 1階 男性用トイレ 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Ø	無
		□ 失権		
	員等関係者以外の者の拾得)	一般拾得者から 費用請求権		
氏名 京都 一郎		占有者への交付日時 □ 有権 □ 報労金請求権		有
住所 京都市左京区	〇〇町10	●年 4月 101	Ø	無
*		□ 棄権		不明
電話番号 080-●	500-000	10時 30分ころ 2 失権		
		一般拾得者から占有者への交付日時 とは、拾得者が占有者に拾得物を提出		
		した日時をいいます。		

- 備考 1 ※の欄には、記載しないこと。
 - 2 太枠の部分は、一般拾得(従業員等関係者以外の者が拾得した場合)のみ記入すること。
 - 3 □印のある欄については、該当の□内にレ印を付すこと。
 - 4 権利欄については、費用若しくは報労金を請求する権利又は物件の所有権を取得する権利について、拾得者が、これらの全てを放棄している場合には棄権の□内にレ印を、遺失物法第34条の規定によりこれらを失っている場合には失権の□内にレ印を、それ以外の場合は有権の□内にレ印を付した上で、主張している権利の□内にレ印を付すこと。
 - 5 氏名等告知同意欄については、遺失物法第13条第2項において準用する法第11条第2項に規定する拾得者の氏名等の告知に 拾得者が同意をしているときは有の□内にレ印を、同意をしないときは無の□内にレ印を、一般拾得の場合で拾得者が氏名等 の告知に同意をするか不明のときは不明の□内にレ印を付すこと。